

「教員の AT・ICT 活用に関する調査」
あなたの自己評価と研修ニーズを教えてください

- * あなたのプロフィールを教えてください。
- * AT 及び ICT 環境が整備されていることを前提として、以下の A-1 から E-2 の 19 項目について左欄の 4 段階でチェックしてください。(あなたの AT 活用に関する自己評価を「○」で記してください。)
- * 続いて、A-1 から E-3 の 19 項目について右欄の 4 段階でチェックしてください。(あなたの AT 活用に関する研修のニーズ (研修をしてみたいか否か)を「○」で記してください。)

※この調査で得られたデータは、「特別支援学校（肢体不自由）のセンター的機能を活かした AT 活用の促進に関する研究－ICT の役割を重視しながら－」においてのみ活用します。
※研究成果は学会や報告書、Web サイト等で公表する予定ですが、個人が特定されないよう配慮します。

【プロフィール】

- (1) 名前： _____ (2) 性別： () 男 ・ () 女

- (3) 年齢：該当する年代に「○」をご記入ください。
() 20 歳代 () 30 歳代 () 40 歳代 () 50 歳代以上

- (4) 所属学部等：該当する部署に「○」をご記入ください。
() 小学部 () 中学部 () 高等部
() その他 [自立活動部、訪問教育、コーディネータ、()]

- (5) 教職経験年数 (※平成 24 年 5 月現在)：数字をご記入ください。1 年未満の方は「0」とご記入ください。
①小学校 (年) ②中学校 (年) ③高等学校 (年)
④特別支援学校 (盲・ろう・養護学校) (年) ⑤その他 (年) [学校種： _____]
⑥上記の内、障害児教育経験年数 (年)
→ [内訳]・肢体不自由 (年) ・知的障害 (年) ・視覚障害 (年)
・聴覚障害 (年) ・病弱 (年) ・言語障害 (年) ・自閉症、情緒障害 (年)

- (6) 主に担当する授業：[複数回答可]
() 該当学年教科 () 下学年・下学部 () 知的代替の教科等 () 自立活動が主

- (7) 担当する (した) 教科： _____

- (8) 免許を有する教科： _____

自己評価

4 わり に で き る	3 や や で き る	2 あ ま り で き な い	1 ほ と ん ど で き な い
-----------------------------	----------------------------	--------------------------------------	---

A 教材研究・指導の準備・評価などにICT を活用する能力

- A-1 児童生徒の学習や生活支援に必要な教材を作成するため、ワープロソフトやプレゼンテーションソフト(PowerPoint等)などを活用する。
- A-2 児童生徒の学習や生活支援に適切な補助用具や教材の資料を集めるため、インターネットやDVDなどを活用する。
- A-3 評価を充実させるために、コンピュータやデジタルカメラなどを活用して児童生徒の作品・学習状況・成績・個別の教育計画などを管理し集計する。
- A-4 児童生徒の教育ニーズを分析し、どの場面でアシスティブ・テクノロジー・デバイス(障害に応じた機器・ソフトウェア:スイッチ等の入力装置, スキャン入力ソフト, コミュニケーションシンボル, VOCAなど)を活用すれば効果的かを考え指導の計画を立てる。

4	3	2	1
---	---	---	---

4	3	2	1
---	---	---	---

4	3	2	1
---	---	---	---

4	3	2	1
---	---	---	---

B 指導にアシスティブ・テクノロジーを活用する能力

- B-1 児童生徒の障害や個別の教育ニーズに応じて立てられた指導の計画に従って、アシスティブ・テクノロジー・デバイス(障害に応じた機器・ソフトウェア:スイッチ等の入力装置, スキャン入力ソフト, コミュニケーションシンボル, VOCAなど)を使用する。
- B-2 児童生徒の障害や個別の教育ニーズに応じてアシスティブ・テクノロジー・デバイス(障害に応じた機器・ソフトウェア:スイッチ等の入力装置, スキャン入力ソフト, コミュニケーションシンボル, VOCAなど)を指導計画以外の場面でも活用する。
- B-3 児童生徒の発達に応じた認知を支援するため、デジタルカメラやコンピュータ、プリンタを活用して写真・シンボルカードを効果的に提示する。
- B-4 児童生徒の思考や理解を深めたりするため、コンピュータやプロジェクタを活用して制作した資料等を効果的に提示する。

4	3	2	1
---	---	---	---

4	3	2	1
---	---	---	---

4	3	2	1
---	---	---	---

4	3	2	1
---	---	---	---

研修ニーズ

4 ぜ ひ 学 び た い	3 機 会 が あ れ ば 学 ぶ	2 あ ま り 必 要 が な い	1 研 修 の 必 要 を 感 じ な い
---------------------------------	---	---	---

4	3	2	1
---	---	---	---

4	3	2	1
---	---	---	---

4	3	2	1
---	---	---	---

4	3	2	1
---	---	---	---

4	3	2	1
---	---	---	---

4	3	2	1
---	---	---	---

4	3	2	1
---	---	---	---

4	3	2	1
---	---	---	---

自己評価

4 わり に で き る	3 や や で き る	2 あ ま り で き な い	1 ほ と ん ど で き な い
-----------------------------	----------------------------	--------------------------------------	---

4	3	2	1
---	---	---	---

4	3	2	1
---	---	---	---

4	3	2	1
---	---	---	---

4	3	2	1
---	---	---	---

4	3	2	1
---	---	---	---

4	3	2	1
---	---	---	---

4	3	2	1
---	---	---	---

4	3	2	1
---	---	---	---

4	3	2	1
---	---	---	---

4	3	2	1
---	---	---	---

4	3	2	1
---	---	---	---

C 児童生徒のICT 活用を指導する

- C-1 児童生徒がコンピュータやインターネットなどを活用して、情報を収集したり選択したりできるように指導する。
- C-2 児童生徒が自分の考えをワープロソフトで文章にまとめたり、プレゼンテーションソフト(PowerPoint等)で発表したりすることを指導する。
- C-3 児童生徒がアシスティブ・テクノロジー・デバイス(障害に応じた機器・ソフトウェア)活用して発表したり表現したりできるように指導する。
- C-4 個に応じたアシスティブ・テクノロジー・デバイス(障害に応じた機器・ソフトウェア)を使用させることで、コンピュータ等を使いやすくする。

D 情報モラルなどを指導する能力

- D-1 児童生徒が発信する情報や情報社会での行動に責任を持ち、相手のことを考えた情報のやりとりができるように指導する。
- D-2 児童生徒が情報社会の一員としてルールやマナーを守って、情報を集めたり発信したりできるように指導する。
- D-3 児童生徒がインターネットなどを利用する際に、情報の正しさや安全性などを理解し、健康面に気をつけて活用できるように指導する。
- D-4 児童生徒がパスワードや自他の情報の大切さなど、情報セキュリティの基本的な知識を身につけることができるように指導する。

E 校務にICT を活用する能力

- E-1 校務分掌や学級経営に必要な情報をインターネットなどで集めて、ワープロソフトや表計算ソフトなどを活用して文書や資料などを作成する。
- E-2 教員間の連携協力を密にするため、校内ネットワークを活用して、必要な情報の交換・共有化を図る。
- E-3 地域にある ICT 関連の資源(IT サポートセンター、教育センター、大学、高専など)を利用する。

研修ニーズ

4 ぜ ひ 学 び た い	3 機 会 が あ れ ば 学 ぶ	2 あ ま り 必 要 が な い	1 研 修 の 必 要 を 感 じ な い
---------------------------------	---	---	---

4	3	2	1
---	---	---	---

4	3	2	1
---	---	---	---

4	3	2	1
---	---	---	---

4	3	2	1
---	---	---	---

4	3	2	1
---	---	---	---

4	3	2	1
---	---	---	---

4	3	2	1
---	---	---	---

4	3	2	1
---	---	---	---

4	3	2	1
---	---	---	---

4	3	2	1
---	---	---	---

4	3	2	1
---	---	---	---

ご協力ありがとうございました